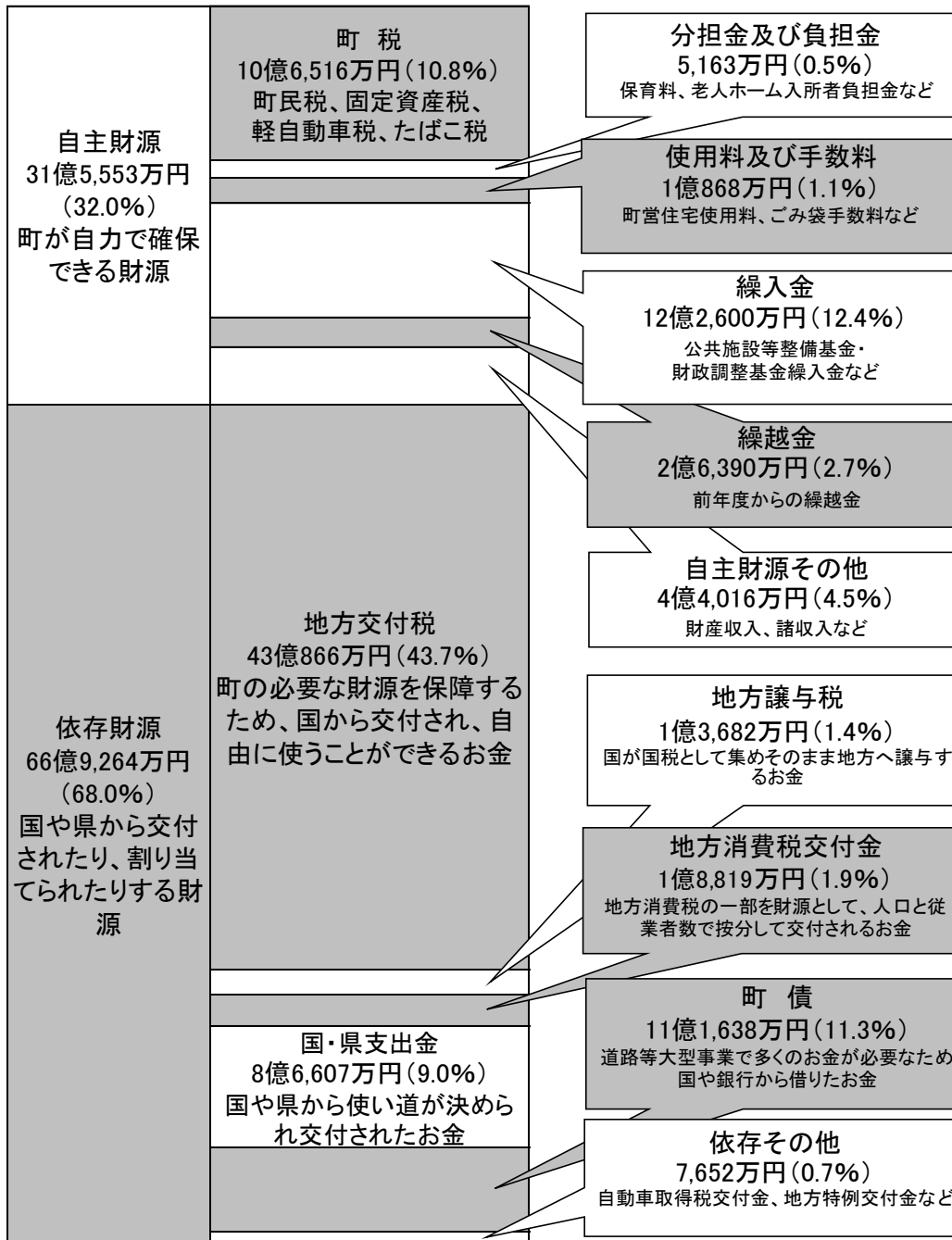


令和元年度決算報告

令和元年度佐久穂町における各会計の「歳入歳出決算」が、9月の定例議会で認定されましたので、一般会計を中心にお知らせします。

一般会計の歳入決算額は98億4,817万円、歳出決算額は94億7,511 万円、当年度で事業が未完了であったため翌年度へ繰り越す財源が3億6,015万円、歳入歳出を差し引いた実質収支は1,290万円となりました。そのうち700万円を減債基金へ積み立て、残りの590万円を令和2年度の一般財源として繰り越しました。

歳入 98億4,817万円



[表中()内は構成比]

歳入総額は前年度と比べ11億4,847万円の大幅な増となりました。

主なものとして、「地方交付税」が台風19号災害関連経費に対して措置されたことにより前年度と比べ2億4,817万円(6.1%)増、「国庫支出金」についても台風19号災害の関係で、8,864万円(21.7%)増となりました。

また、財政調整基金や公共施設等整備基金を取崩したことで「繰入金」が3億4,701万円(39.5%)の増、「町債」が4億8,484万円(76.8%)の増となりました。

歳出94億7,511万円

経常的経費 49億3,758万円 (52.1%) 毎年度継続的、固定的に支出される経費	義務的経費 30億3万円 (31.7%) 支出が義務づけられ、任意に節減できない硬直性の高い経費	人件費 12億3,757万円(13.1%) 職員給、特別職給与、議員報酬など	扶助費 5億3,380万円(5.6%) 福祉医療費、児童手当など
		公債費 12億2,866万円(13.0%) 過去に借り入れた地方債の元利償還金	
		補助費等 8億2,646万円(8.7%) 区補助金、佐久広域等負担金など	維持補修費 6,265万円(0.7%) 庁舎等町内施設維持修繕費など
物件費 10億4,845万円(11.1%) 臨時職員賃金、需用費、役務費など			
臨時的経費 45億3,753万円 (47.9%) 一時的・偶発的な行政需要に対応して支出される経費、規則性のない経費	その他経費 64億7,508万円 (68.3%) 義務的経費以外の経費	普通建設事業費等 18億2,769万円(19.3%) 道路改良事業など	貸付金等 1億1,329万円(1.2%) 宅造会計貸付金など
		災害復旧事業費 5億7,107万円(6.0%)	
		繰出金 14億8,919万円(15.7%) 国保等特別会計、南佐久環境等繰出金	積立金 5億3,628万円(5.6%) 財政調整・減債基金など

[表中()内は構成比]

歳出総額は、前年度と比べ11億4,731万円の大幅な増となりました。

主なものとして、「災害復旧事業」が5億3,729万円(1,590.7%)増、新庁舎建設事業の増などにより「普通建設事業」が6億3,050万円(52.7%)増となりました。

一方、「公債費」は前年度と比べ9,587万円(7.2%)減となりました。

【令和元年度に実施した主な事業】

	主 な 事 業	事業費 (万円未満四捨五入)	事 業 内 容
総務関係	ファイリングシステム導入事業	407 万円	新庁舎移転に向け、新しく文書管理システムを導入
	新庁舎建設事業	8億9,843 万円	新庁舎建設事業
	参議院議員選挙経費	897 万円	7月21日執行の参議院議員選挙の経費
	デマンド交通交付金	2,506 万円	商工会運営への交付金 年間延べ利用者数19,699人
	道の駅基本計画策定等に係る業務	330 万円	道の駅に係る基本計画(案)を策定するための支援業務
	ふるさと納税事業	479 万円	令和元年台風19号に係る災害支援分を新設
民生関係	プレミアム付商品券交付事業	1,645 万円	プレミアム付商品券の交付
	障がい者支援	2億8,968 万円	サービス給付費、更生医療、補装具等
	障がい者施設指定管理委託	1,090 万円	障がい者福祉施設「陽だまりの家」指定管理委託
	介護保険事業	1億7,691 万円	介護保険特別会計繰出金等
	福祉医療費	5,556 万円	0歳～高校生、障がい者等の一定資格者2,067人対象
	出生祝い金	230 万円	第1・2子5万円、第3子以降10万円 36人対象
	成長祝い金	250 万円	小学校入学1万円、中学校入学2万円 169人対象
	学童クラブの運営	1,518 万円	2箇所運営、年間延べ利用者数17,816人
	児童館の運営	982 万円	旧中央小で運営、年間延べ利用者数17,325人
	児童手当	1億3,604 万円	児童手当の支給
衛生関係	保育園施設整備事業	3,347 万円	栄・海瀬・八千穂保育園の修繕及び改修を実施
	予防接種	1,958 万円	乳幼児予防接種、インフルエンザ
	各種検診等の実施	2,880 万円	集団検診866人、町民ドック491人等
	母子保健事業	1,019 万円	妊婦健康診査助成延べ857人、あそびの広場等の実施
	合併処理浄化槽設置	315 万円	合併処理浄化槽設置補助金、9基
	一般廃棄物処理事業	1億2,193 万円	ごみの収集運搬、処理業務
農林関係	農業次世代人材投資事業	600 万円	始めて5年以内の新規青年就農者への交付金 4名
	中山間地域農業直接支払事業	2,864 万円	遊休荒廃農地の発生防止等により優良農地を確保 50集落
	農作物鳥獣害防止対策	177 万円	農家等による柵等設置に対する補助、資材支給
	有害鳥獣の駆除	1,128 万円	農林業被害を防ぐため捕獲報償金 シカ1,055頭捕獲等
	森林造成事業	1億2,282 万円	更新一貫施業、松くい虫対策等
	町単土地改良事業	9,347 万円	農道や農業用水路等の改修工事14ヶ所
商工関係	商工会活動事業補助金	1,040 万円	商工会活動への補助
	創業支援事業補助金	131 万円	創業者へ賃料、改修費の一部補助 4件
	八千穂高原自然園・花木園	256 万円	自然園来園者数8,443人、花木園来園者数820人
	白駒線バス運行事業	165 万円	佐久平～麦草峠間 輸送人員延べ632人
	休養施設管理費	888 万円	八千穂レイク等の管理
土木関係	町単道路維持改良工事	1億2,242 万円	箇所付けによる道路改良工事等37ヶ所
	辺地対策事業	3,790 万円	地区要望箇所を精査 道路改良工事等4ヵ所
	補助橋梁維持改良事業	1億2,021 万円	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕
	町道の除融雪委託	2,364 万円	町内業者へ除融雪業務委託 出動時間767時間
消防	消防ポンプ付自動車購入	2,792 万円	消防ポンプ自動車等購入、2台
	消防団等の経費	7,079 万円	消防団活動の経費 分団数7
教育関係	スクールバス運行委託料	2,073 万円	遠距離通学児童・生徒に係るスクールバス運行委託
	給食費補助金(小・中学校)	1,370 万円	1食当たり100円の補助
	町費講師配置事業	4,547 万円	小中学校できめ細かな指導を行うため学習支援員を配置
	英語サポート事業(ELT派遣)	1,119 万円	小中学校の英語教育推進のため、ELT2名を配置
	教育用ICT機器整備事業	765 万円	小中学校の情報教育環境の整備
	生涯学習推進活動事業	886 万円	従来の各種講座に加え、参加型イベントや新講座の実施
	図書館の運営事業	1,922 万円	蔵書整備、図書の購入等
	公園の運営事業	1,038 万円	元気が出る公園等の管理運営費 計6公園分
災害関係	台風19号災害対応非常備消防費用	485 万円	令和元年台風19号災害に係る消防団員の出勤手当等
	台風19号災害派遣職員経費	1,245 万円	令和元年台風19号災害に係る災害派遣職員の人件費
	台風19号災害廃棄物処理事業	4,653 万円	令和元年台風19号に係る災害廃棄物処理
	台風19号災害対策経費事業	2,991 万円	災害見舞金131件、被災者生活再建支援金24件
	台風19号災害林業施設災害復旧事業	6,262 万円	令和元年台風19号に係る林道災害復旧事業
	台風19号農地災害復旧事業	1億1,582 万円	令和元年台風19号に係る農地災害復旧事業
	台風19号農業用施設災害復旧事業	7,038 万円	令和元年台風19号に係る農業用施設災害復旧事業
	台風19号道路橋りょう災害復旧事業	1億317 万円	令和元年台風19号に係る道路橋りょう災害復旧事業
	台風19号社会体育施設災害復旧事業	1,719 万円	令和元年台風19号に係る社会体育施設災害復旧事業

【特別会計_歳入歳出一覧】

(単位:円)

会計区分	会計名	歳入	歳出	差引額
普通会計	一般会計	9,848,168,422	9,475,114,490	373,053,932
	住宅改修資金等貸付事業特別会計	7,701,634	7,692,992	8,642
特別会計	国民健康保険特別会計	1,184,105,951	1,168,884,170	15,221,781
	介護保険特別会計	1,414,312,740	1,389,387,553	24,925,187
	簡易水道事業特別会計	26,874,872	25,196,860	1,678,012
	農業集落排水事業特別会計	70,057,547	69,402,295	655,252
	住宅地造成事業特別会計	13,836,843	13,836,000	843
	老人保健施設特別会計	398,878,852	384,918,579	13,960,273
	索道事業特別会計	149,292,484	149,292,484	0
	後期高齢者医療特別会計	143,669,167	142,815,840	853,327
	収益的収入及び支出	1,589,103,601	1,604,758,297	△ 15,654,696
病院事業特別会計	資本的収入及び支出	103,285,000	201,107,992	△ 97,822,992
		14,949,287,113	14,632,407,552	316,879,561

※病院事業会計における資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。(病院事業会計は、6月議会で認定されています。)

【町の財政を一般家庭の家計に例えたら】

※平成30年度年間総収入 500 万円の家庭を基準に想定

町の財政状況(一般会計)			一般家庭に例えた場合 令和元年度			H30年度
					割合	
歳入	町税	10億6,516万円	収入	給料	61万円 11%	62万円
	諸収入、分担金・負担金、財産収入など	6億47万円		パート収入	35万円 6%	41万円
	地方交付税、国県支出金など	55億7,626万円		両親・兄弟からの援助	320万円 57%	302万円
	繰入金	12億2,600万円		預金の取崩しなど	70万円 12%	50万円
	繰越金	2億6,390万円		前年の残り	15万円 3%	9万円
	町債	11億1,638万円		ローン借入れ	64万円 11%	36万円
	合計	98億4,817万円		合計	565万円 100%	500万円
歳出	人件費	12億3,757万円	支出	食費	71万円 13%	69万円
	扶助費	5億3,380万円		医療費	31万円 5%	29万円
	公債費	12億2,866万円		ローンの返済	71万円 13%	76万円
	普通建設事業費、維持補修費	24億6,141万円		自宅の修繕・増改築	141万円 26%	75万円
	物件費	10億4,845万円		消耗品・光熱水費・保険料・備品購入など	60万円 11%	59万円
	補助費、貸付金	9億3,975万円		親戚や友人への援助	54万円 10%	47万円
	積立金	5億3,628万円		貯金	31万円 6%	29万円
	繰出金	14億8,919万円		家族への援助	86万円 16%	95万円
	合計	94億7,511万円		合計	545万円 100%	479万円
町債残高		49億4,527万円	ローン残高		284万円	311万円
基金残高		69億9,637万円	貯金残高		402万円	468万円

ローンの返済(公債費)と家族への援助(繰出金)で 29%を占めています。ローンの返済により、ローン残高(町債残高)は減少しました。

令和元年度は台風 19 号災害により甚大な被害を受けたため、自宅の修繕費が前年度と比べて約2倍の費用がかかりました。そして、その費用は両親兄弟からの援助とローンを借入れたことでまかないました。

食費と医療費、ローンの返済の3つは、義務的経費といって毎年、必ず支払わなければならないお金です。この負担が大きいほど家計のやりくりも大変になっていきます。また、自分で稼げる収入(給料+パート収入)は昨年より若干減少し 17%となっており、両親兄弟からの援助に依存した家計になっています。

今後も自宅の大規模な修繕等(道路・橋梁の維持補修等)が増え続けると予想されますが、両親兄弟からの援助や貯金で全てをまかなうことは難しい状況です。収入を増やす努力も必要ですが、引き続き支出を減らす取り組みも大事になってきます。